

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2018年 5月21日
研究期間	2019年 3月31日 まで
研究の名称	胆嚢ドレナージ後の腹腔鏡下胆嚢摘出術の至適時期に関する検討
研究対象	2011年1月から2016年9月30日までに、当科にて胆嚢ドレナージ後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者さんです。
対象材料	診療記録
対象期間	2011年1月～ 2016年9月
研究の目的意義	急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインでは、中等症以上の胆嚢炎に対して、手術リスクの高い場合、施設の状況などで早期手術が不可能な場合、患者が手術を拒否する場合など、何らかの理由で早期手術が施行できない際には、治療として胆嚢ドレナージが推奨されています。このような胆嚢ドレナージを行った症例では、ドレナージ後に腹腔鏡下胆嚢摘出術を行うことが考慮されますが、その施行時期については、比較的長い待機期間を推奨する研究もあれば、胆嚢ドレナージ施行後1～2週間以内の比較的早期の手術の優越性を示す報告も存在し、現在のところ、一定の見解は得られていません。今回、上記の通り一定の見解の得られていない腹腔鏡下胆嚢摘出術の適切な施行時期を明確にする基盤となる本研究の社会的意義は大きいと考えています。
方法	上記目的のために、診療記録よりデータを収集し、解析を行います。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 外科 富丸 慶人 TEL 06-6843-0101